



YMCAと ワイズメン



大阪ワイズメンズクラブ
会長
いしばし
石橋 ルキ

私は今、大阪YMCA会館の9階に立っています。大阪ワイズメンズクラブ2月例会に出席するためです。南を見下ろせば土佐堀堀端が見え、北の真下には土佐堀川が流れています。

ワイズメンズクラブって何ですか、と疑問を持たれる方が居られるかも知れませんが、ワイズメンとは、Y's men、YMCAの人、YMCAを支える人のことです。

ワイズメンズクラブ(ワイズメンズクラブ国際協会)は1922年、米国オハイオ州で誕生しました。その5年後、1927年12月に、大阪YMCAのならつたえ奈良伝主事が、国際書記のヘンリー・グライトと出会い、「私は日本に帰ったら、3年間で5つのワイズメンズクラブを創ります」と約束しました。そして翌1928年11月に大阪ワイズメンズクラブが設立されます。そして約束の3年間で、大阪、神戸、京都、東京、横浜、と5つのクラブを創設することに成功します。現在、西日本各地には86のクラブが存在します。

私は今年で35年ワイズメンを続けています。ワイズメンはYMCAの働き人ですから、大阪YMCAの様々なボランティア活動を大阪各地で担っています。因みに大阪ワイズメンズクラブは聴覚障がい青少年国際キャンプを支援しています。アジア各国から集まった聴覚障がい者がハンディを乗り越えて、手話やジェスチャーで交流する様は感動的です。近年、日本からの参加者が減少して来たので、支援を止めようか、との声も聞こえたこともありましたが、こんな有意義な事業を止めてはならない、と過去に参加したOB・OGから声が上がリ、有志7人がキャンプリーダー会を立ち上げ、一生懸命手伝ってくれています。

大阪YMCAは2012年4月から新しい会員制度をスタートさ

せ、会員はYボランティアと呼ばれ、ボランティア活動が大阪YMCAの使命とされました。大阪YMCAは古い体質から脱皮して、多くの若者が集う活力あるYMCAに変わりました。過日、2013年11月30日に行われた、第1回大阪YMCA大会でも、その片鱗は感じられました。その中で行われたフォーラムでは各地域の若いボランティア学生リーダーや、若いスタッフの姿が沢山見られ、また、その中のリーダーOBの発言で、最近リーダーOB会を開いたが、70人のOBが集まった、と言う話を聞けば、大阪YMCAを支えている若者の同調者はいかに多いかが、良く解りました。

大阪YMCA会館も1階が「とさぼり保育園」として活用され、玄関周辺の雰囲気がかすっきり明るくなりました。夕方6時頃ワイズの例会出席のため近づくと、自転車でお迎えのお母さんと子どもの声で賑やかです。

グローバルな若人を育てる大阪YMCAの未来が明るいことを、切に祈ります。

INDEX

・YMCAとワイズメン	1P
・保育園事業紹介	2P
・震災4年目思い続けること	3P
・食育コラム ・確定申告受付開始のお知らせ ・早天祈祷会 ・会員 ・賛助会員	4P

大阪YMCAの使命

- 大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。
- ボランティア精神を広く、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭、地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人のびとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。

大阪YMCA 保育園事業紹介

「あなたと共にいます保育園」を目指して
一子どもに仕えることに用いられるわたしたち一



YMCAとさぼり保育園 園長代理 きやま あつこ
木山 敦子

「せんせい!おはよう!」朝7時30分。保育園の朝は、元気な子どもたちの挨拶から始まります。香ばしいお番茶の香りが立ちこめる朝一番の保育園、大家族の洗濯物を取り入れる忙しいお母さんのような保育者が、子どもたちの挨拶を受けとめます。一人ひとりの名前を呼んで「おはよう」の言葉を手渡し、「今日一日、あなたに平和がありますように」と心の中で祈ります。そして、保護者の方には、「今日も大丈夫。気をつけて、お仕事に向かって。」という思いをこめて、「いってらっしゃい」と声をかけます。「いってきます」...この小さな朝の応答こそが関わっている全ての人々を支えています。

発達(いしずえ)を築いていく乳幼児期の子どもたちに、保育者が丁寧に寄り添い、心に見えない「内面の発達」を支え、健やかな発達に繋げることを大切にしています。保育園に集う子どもたちが「愛されている」「支えてくれている人がいる」という安らきを感じ、信頼できる環境で、大切な価値を体験的に学び、より良い習慣を身につけていきます。そして、自らの意思で選んだ一つひとつの大切なことに手を伸ばして新しい関わりを選び取り、そこに責任を持つことを学んでいます。



また、2012年6月に開設した子育て支援事業「ぶどうの木」もオープンから多くの参加があり、地域に根付いた活動を展開しています。今後の重要な課題は、放課後を安全に過ごす子どもの居場所を確保し、働く保護者を支援することです。
子どもたちが安心して生活でき

る場、保護者の方が安心して子どもを託せる場、私たちのYMCA保育園。共に喜び、共に育み、神さまと多くの人に愛されていることを共に感じたいと思います。



職場体験学習受け入れ実施

YMCAあわぎ保育園スタッフ こばやし ともみ
小林 智美

YMCAあわぎ保育園では中学生の職場体験学習の受け入れをしています。

今年度も11月に大阪市立堀江中学校から2名の生徒が職場体験学習に来ました。2日間という短い期間ですが、生徒たちは0歳から2歳の子どもたちと一日一緒に過ごします。初めはとても緊張しているのですが、子どもたちのほうから近づいて微笑んだり、「一緒に遊ぼう!」と誘



うので、すぐに緊張もほぐれ笑顔で楽しそうに遊ぶ姿が見られます。短い期間の体験ではあっても、最終日には子どもたちとの別れをとても名残惜しそうにしながら帰っていく生徒たちの姿があります。

体験を終えた生徒の感想には「小さい子どもたちが心を開いてくれて自分から来てくれたのがうれしかったです」「保育士さんたちは小さな子を自分の子どものように愛しているのが伝わってきました」「保育士の仕事は大変そうですが、子どもの笑顔が毎日見られるのでなってみたいと思いました」など、この職場体験学習によって、子どもと関わる喜びや、保育士という職業への憧れがさらに高まることをうれしく思っています。YMCAあわぎ保育園で職場体験学習をした生徒たちが、この体験で学んだこと、子どもたちとの関わりで感じたことが、将来の自分の夢へと繋がっていくことを願います。



震災4年目 思い続けること

盛岡YMCA宮古ボランティアセンター きだ ひろゆき
センター長 木田 泰之

震災当時、日本中が支えあった頃を思い起こしてください。そして苦難に遭われた方々にとって、長い人生の中で震災からまだわずか3年しか経っていないことを考えてみてください。これからの歩みと支援の大切さが想像できると思います。

2012年2月、赴任当時はまだ取り壊される前の津波の爪痕が町のあちこちに残っていましたが、今は宮古に限って言えば、津波の脅威を感じさせる建物はほぼ無くなりました。宮古を訪れるボランティアに津波の脅威を伝えるには、被災現場を訪れることが一番でした。しかし今は言葉を越えた惨状を言葉で伝えなければいけません。また、気持ちが伝わらない誤解から生まれた苦しみもあります。福島県浪江町の方が避難先の土地の人から誤解による筆舌しがたい嫌がらせに遭い、孤独を感じ、とうとう引きこもってしまったと話してくださいました。「温度差」「震災の風化」、言葉では簡単ですが、目に見えない苦しみがこの3年経っても根深く被災者を苦しめています。SOSを出し続けることのエネルギーは、キャッチする側の感度にも左右され、SOSの強さと感度は反比例します。伝わりにくければボリュームを上げざるを得ませんが、逆に言えば、小さな声も耳を澄ませば聞き取ることができるのです。小さな声に私たちが耳を傾けようとする準備も、簡単な支援のひとつです。「伝えること」「理解しようとする姿勢」この相互作用を持続させ続ける働きが、大切な活動だと思います。

被災後の宮古を覚えつつ、今までもこれからも、YMCAとしての復興(新生)の「切り口」はYMCAが得意とする分野、子どもたちや若者の育成です。そしてキーワードは地元との結びつきです。ボランティアセンターの『使命』の中には「～宮古市の方々とネットワークを構築し～」とあり、また、『大阪YMCAの使命』にも「～子どもたちを、家庭、地域社会とともに育てます。」と謳われています。地元団体や人々と思いを一つにし、次代の宮古の主役たちを育てるため、協働して活動します。協働しないと宮古でのYMCA運動の存続はあり得ません。次年度は今まで以上に子どもたちの活動、高校生リーダーシップの育成に力を注ぎ、彼ら



彼女らが宮古を愛し、将来の復興の柱となることを願います。「大阪」で宮古を思い、「宮古」で復興の担い手の育成に力を注ぐこと(その協力をする)が、今後の宮古復興への大切な「寄り添い」となるのではないのでしょうか。

子どもたちの育ちにより、「辛」は文字どおり、「幸」を取り戻す一歩手前でありますように。



■フィリピン台風30号緊急支援街頭募金
同じ被災した街へ思いを届けます
【高校生ボランティア33名参加】



■田沢湖スキーキャンプ
宮古の小学生、全国のリーダーも協力していただきました。



■スキーリーダー実技研修会にて
盛岡YMCAと宮古の高校生



■野外活動
クリスマス会(宮古教会にて)



■日赤救急法救急員資格認定講習
認定試験直前の高校生



■野外活動
登山中の発見

宮古ボランティアセンターの活動はさまざまな場所で取り上げられています。



岩手日報(右)2013年12月26日掲載
(左)2014年2月13日掲載

男性の料理教室に参加して…

ながかわ けいいち
YMCAサンホーム 喫茶ボランティア 中川 慶一



右端が中川さん。週1度の喫茶ボランティアにて

私はYMCAサンホームでの男性の料理教室*に参加して、3月で20回を迎えます。生徒は6~8名で、全員が高齢者です。包丁の扱い方、材料の切り方など料理の基礎から色々なことを教えていただいています。最初はなかなか思うようにはできず、料理というものは本当に難しく大変なことだと痛感しました。それでも参加回数が増す毎に少しずつできるようになり、今では自分たちで作った料理を和気あいあいと語りながら食べるのが楽しみのひとつになりました。また、人が生きるための源である食に対する意識も変わりました。食材を生産する人たち、料理を作る人たちへの感謝の気持ちも改めて感じています。先日ある男性が他国の女性に求婚したところ、料理もしない男性はダメだと断られたという話を聞きました。国際結婚だけでなく、最近では日本でもそういった女性が増えているそうです。男性でも老若問わず料理の基本くらいは習得する時代であるのだと実感しています。

* 社会との係わりが少なくなりがちな男性高齢者を対象に、コミュニケーションの場を提供するとともに、介護をする立場になった場合にも簡単な料理ができるように、YMCAサンホームにて月に1度開催しています。

肉団子と白菜の煮物(2人分)

【材料】

- 白菜 _____ 140g
- れんこん _____ 20g
- 酢 _____ 少々
- しいたけ _____ 3枚
- 鶏ひき肉 _____ 140g

【A】

- 卵 _____ 10g (1/5 匁)
- しいたけ _____ 3枚
- 生姜汁 _____ 大さじ1
- 濃口しょうゆ _____ 小さじ1
- 酒 _____ 小さじ1
- 塩 _____ 少々
- 片栗粉 _____ 小さじ1

【B】

- だし汁または水 _____ 200cc
- 薄口 _____ 大さじ1
- 酒 _____ 小さじ2
- みりん _____ 大さじ1
- 柚子の皮、またはねぎ

※大さじ:15cc、小さじ:5cc

【作り方】

1. 白菜は4~5cm にざっくり切る。
れんこんは皮をむき、酢水につけてアクを抜き、みじん切りにする。
椎茸は石づきを取り除いて2等分にします。
2. ボールにひき肉、れんこん、【A】をあわせて3~4個の団子にする。
3. 鍋に【B】を合わせて火にかけ、沸騰したら、2の団子を入れ、あくをとりながら中火で5分程煮る。
4. 3に白菜と椎茸を入れて、白菜が軟らかくなるまで煮る。
5. 盛り付けたら、上にねぎや柚子の皮などをのせる。



1月の課題料理
「肉団子と白菜の煮物」

平成25年分確定申告受付開始のお知らせ

会員のみなさまからの公益財団法人大阪YMCAに対する寄付金(会費・クリスマス献金など)につきましては、税額控除の対象となります。各税務署にて、確定申告の受付が始まっております。2014年3月17日(月)までにお済ませください。

詳しくは

国税庁 公益財団法人 税額控除

検索

大阪YMCA早天祈禱会

YMCAを愛する人びとによって共に祈る時(毎月第3金曜日予定)が持たれています。YMCAの様々な場で活動されている方々にお話をいただき、人生の歩みを分かちあう恵みの時としています。

■第251回 日 時…2014年3月14日(金)7:30~8:30

※今回のみ第2金曜日に行います。

証 し…^{もう} 大盛さん

(大阪ワイズメンズクラブ会員・関西韓国YMCA理事)

場 所…大阪YMCA会館 10階 チャペル

問合せ…大阪YMCA 本部事務局 総務

TEL : 06(6441)0894 E-mail : info@osakaymca.org

■会員・賛助会員としてのご協力に感謝申し上げます。

2014年1月度報告

【新規会員】

- | | | |
|--------|--------|-------|
| 三好 由希子 | 小角 彩華 | 宮本 裕一 |
| 青山 秀互 | 小森 三省 | 三輪 恭聖 |
| 秋岡 奈美穂 | 齊藤 薫 | 山田 茜 |
| 石原 実香 | 阪口 千穂 | 山中 秀男 |
| 井上 由梨 | 阪口 温子 | 吉田 誠二 |
| 梅澤 言海 | 坂口 真穂 | |
| 梅田 克聡 | 阪本 和香奈 | |
| 大島 佑香 | 里見 公利 | |
| 岡本 夏実 | 清水 里沙 | |
| 越智 稜斗 | 菅 秀晃 | |
| 勝久 美月 | 杉山 聡子 | |
| 加藤 馨気 | 鈴木 良洋 | |
| 北岡 昂 | 関本 沙也香 | |
| 小島 宏樹 | 多田 裕紀 | |
| 越山 奈緒 | 田中 義宣 | |
| 小松 一輝 | 徳永 渚 | |
| 管 紀子 | 鳥居 翠 | |
| 杉前 英里 | 中村 茂高 | |
| 高瀬 里菜 | 中村 隆幸 | |
| 田中 厚至 | 西川 千晶 | |
| 土居 香菜子 | 畠平 雅生 | |
| 中井 千尋 | 深田 亮 | |
| 中川 皓貴 | 福井 みなみ | |
| 中村 和麻理 | 福盛 麻帆 | |
| 野崎 唯 | 藤井 宏紀 | |
| 八田 りさ子 | 星加 美奈 | |
| 鶴野 葵 | 松谷 衣莉 | |
| 福田 成美 | 松原 満 | |
| 松井 芳寛 | 宮本 茉莉 | |

【継続会員】

- | | | |
|--------|--------|--|
| 安藤 格 | 安藤 格 | |
| 飯田 有妃 | 飯田 有妃 | |
| 今城 久美子 | 今城 久美子 | |
| 今村 一之 | 今村 一之 | |
| 植田 優 | 植田 優 | |
| 大里 由恵 | 大里 由恵 | |
| 大西 梨加 | 大西 梨加 | |
| 大野 慎太郎 | 大野 慎太郎 | |
| 小島 英恵 | 小島 英恵 | |
| 桂 武邦 | 桂 武邦 | |
| 川島 洋一 | 川島 洋一 | |
| 川東 竜也 | 川東 竜也 | |
| 川本 かおる | 川本 かおる | |
| 河本 康宏 | 河本 康宏 | |
| 神田 尚人 | 神田 尚人 | |
| 岸下 幸美 | 岸下 幸美 | |
| 岸本 裕子 | 岸本 裕子 | |
| 楠見 真依 | 楠見 真依 | |
| 工藤 義正 | 工藤 義正 | |

【継続賛助会員】

- 株式会社亀井組
- 紀伊産業株式会社
- 有限会社杉本写真場
- 株式会社創元社
- タキロン株式会社
- 株式会社田邊空気機械製作所
- 朝陽電気株式会社

